



TOHOKU  
UNIVERSITY



# 東北大学 東北メディカル・メガバンク機構

TOHOKU MEDICAL MEGABANK ORGANIZATION

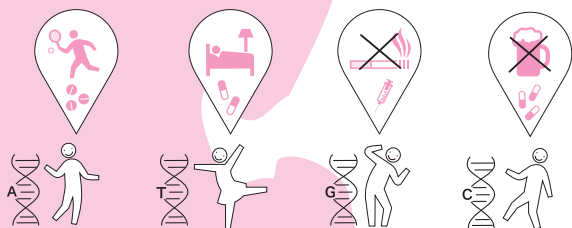
東北大学 東北メディカル・メガバンク機構は、  
未来型医療を築いて震災復興に取り組むことを目的に設置されました。  
機構は、東日本大震災の被災地の地域医療再建と  
健康支援に取り組みながら、  
医療情報とゲノム情報を複合させたバイオバンクを構築します。  
このバイオバンクに集まった情報と  
その解析結果に基づく新しい医療の創出を通じて、  
被災した東北地区への医療人の求心力向上、  
産学連携の促進、関連分野の雇用創出、  
さらには医療復興を成し遂げたいと考えています。

<http://www.megabank.tohoku.ac.jp/>

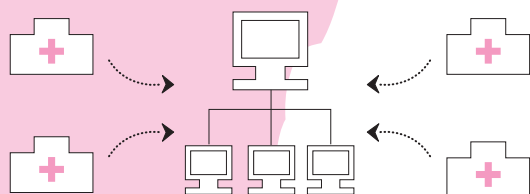


# 未来型医療を 東北から はじめめるために

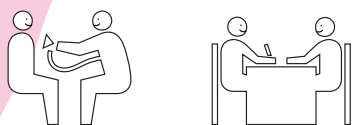
東北メディカル・メガバンク機構は「個別化医療」と「個別化予防」の発展を目指しています。これまでよりも、一人ひとりの体に合った治療と病気にかかりにくい生活スタイルの提案を進めたいと思っています。そのために必須のバイオバンクを作って研究に役立てていきます。



でも、東北の地から個別化医療・個別化予防を始めるために、一緒にやるべきことがあります。「医療情報ICT化」もそのひとつ。災害から一人ひとりのカルテを守るために、災害に強い電子ネットワークを作ろうとしています。



それから、いま被災地に必要なのは、ダメージを受けた地域医療への手助けと人々の健康を調べること。私たちは、健康状態をより良くするための健康調査と、被災地のお医者さんを増やす取り組みを始めています。遠くの病院に行かなくても近くの医院で専門的な診察が受けられる仕組み作りです。



さらに、私たちは、バイオバンクへ集まる試料やデータから遺伝子の研究を進展させ、未来型医療を支える人々を育て、世界にさきがけた新世代の医療を創り出そうとしています。

災害に強い電子ネットワークを作り、被災地の方々の健康を調べて、被災地にお医者さんを増やす。さらに、バイオバンクを作って個別化医療・個別化予防の研究をする。やがて、東北の誰もが自分に合った医療を受けられるようになる。東北メディカル・メガバンク機構が目指すのは、そんな未来。

東北の未来の健康を創る挑戦は、もう、すでに始まっています。